

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	太陽地球圏環境予測：我々が生きる宇宙の理解とその変動に対応する社会基盤の形成
領域代表者	草野 完也 (名古屋大学・太陽地球環境研究所・教授)
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、太陽を起源とする惑星規模の環境変動について、その発生と影響を予測する科学的な基盤を確立することを目指す提案である。物理モデルによる予測と、その定量的な検証を通して、次世代宇宙天気予報の基盤を構築し、宇宙天気予報を社会的基盤にまで高めようという取組の意義は大きい。また、次世代宇宙天気予報の基盤提供に関連して様々な技術開発の展開が予想され、一定の波及効果も期待される。</p> <p>各計画研究には、太陽物理学、地球電磁気学、気象学・気候学など、幅広い分野の実績ある研究者が参画しており、これらの計画研究の連携によって新しい学術領域の形成が期待できる。また、領域代表者には十分なマネジメント実績が認められ、広い視野に立った領域全体の推進が期待できる。</p> <p>一方で、各計画研究が孤立することがないように、有機的な連携の強化が必要である。</p>